

## JFIR 公開ウェビナー

『『海洋空間における安定』とは何か—航行の自由と領土保全の狭間で—』のご案内  
-Voices for "Maritime Stability:" Navigation Freedom and Territorial Integrity-

この度、日本国際フォーラム(JFIR)は、3月10日(金)に下記要領にて公開ウェビナー『『海洋空間における安定』とは何か—航行の自由と領土保全の狭間で (Voices for "Maritime Stability:" Navigation Freedom and Territorial Integrity)』を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻は、国連で決められた武力不行使義務はおろか、全欧安保協力会議で決められた国境不可侵義務、および戦争の戦い方をめぐる国際刑事裁判所規程も無視しています。長い期間をかけて作られた武力による現状変更への抑制は、今や危機に瀕しています。

同様のことは、中国の「海洋強国」構築にも言えるのではないのでしょうか。日中間の中間線は順守されたりされなかったりを繰り返しています。南シナ海の九段線は、2016年の国際仲裁裁判所で違法との裁定が出されましたが、中国は全く意に介さず、海洋法条約に加入していない米国を批判するばかりです。

ロシアや中国には、日米欧等が第二次世界大戦以降築き上げてきたリベラルなルールが、むしろ自分たちの権益を脅かすものと映るのでしょうか。少しでも自国の統制の効く空間が海洋空間でも拡大すれば良いとの考えです。そこに「ルールを遵守せよ」と求めてみても、その影響力には限界があります。しかし、他に有効な手段が多く存在しているわけではありません。

本ウェビナーでは、「海は誰のものか」という古くて新しいテーマを「安定」を維持するためにはどうすれば良いかに焦点を当て、討議を行います。沿岸国は自国の海洋権益を広く持ちたいのに対し、海に面していない国は「コモンズ」としての海を主張する傾向があります。この逆方向のベクトルの均衡点を探るのが、本ウェビナーのテーマです。

当日は、当法人が2020年度より実施している「海洋秩序構築と多面的展開」研究会主査で、当法人にて長年海洋問題に取り組んでこられた伊藤剛 JFIR 理事・上席研究員/明治大学教授を議長として、米国よりヴァージニア・ワトソン・アジア太平洋安全保障研究センター教授、カナダよりスティーブン・ナギ国際基督教大学教授、シンガポールよりジョン・ブラッドフォード南洋理工大学ラジャラトナム国際研究院(RSIS)シニアフェロー(海洋安全保障プログラム)、ベトナムよりグエン・ティン・ランアンベトナム外交学院研究部長、日本より山田吉彦東海大学教授および小森雄太笹川平和財団海洋政策研究所主任研究員が登壇します。

## 記

1. 日時：2023年3月10日(金) 16時から17時半まで
2. 開催形式：オンライン (Zoom ウェビナー)
3. 参加費：無料
4. 使用言語：日英同時通訳
5. プログラム：[https://www.jfir.or.jp/23public/0310\\_pgm.pdf](https://www.jfir.or.jp/23public/0310_pgm.pdf)
6. 申込方法：以下のバナーをクリックして3月9日(木)正午までにお申し込み下さい。お申込みいただいた皆様には、会合までにメールにて参加用 URL 等の詳細を送信いたします。

[お申し込みはこちら](#)